



国産バネ工業株式会社

本 社

大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号 〒532-0036
TEL.(06)6309-3551(代) FAX.(06)6301-3552
E-mail kbk.honsha@banec.jp

彦根工場

滋賀県彦根市宮田町21番地 〒522-0003
TEL.(0749)26-3551(代) FAX.(0749)26-3554
E-mail kbk.hikone@banec.jp

広島支店

広島市安佐南区中須1丁目13番21号 〒731-0121
TEL.(082)877-1186(代) FAX.(082)877-1138
E-mail kbk.hiroshima@banec.jp

URL <http://www.banec.jp>

— グループ企業 —

KBK VIETNAM CO.,LTD

Lot B_4B1_CN, Road DE2&NE5B, My Phuoc 3 Industrial Park,
Thoi Hoa Ward, Ben Cat Town, Binh Duong Province, VietNam
Tel: +84-274 222 1500 / 274 222 1501
Fax: +84-274 222 1502

URL <https://kbk-vietnam.com/>



創立80周年記念誌

The 80th Anniversary

国産バネ工業株式会社



目次 INDEX

- 1 刊行にあたり〔不易流行〕
- 2-3 最近10年のあゆみ 2010-2013
- 4-5 最近10年のあゆみ 2014-2015
- 6-8 最近10年のあゆみ 2016-2018
- 9 Manufacturing Network
- 10-11 70年までのあゆみ 1939-1948
- 12-13 70年までのあゆみ 1949-1958
- 14-15 70年までのあゆみ 1959-1968
- 16-17 70年までのあゆみ 1969-1978
- 18-19 70年までのあゆみ 1979-1988
- 20-21 70年までのあゆみ 1989-1998
- 22-23 70年までのあゆみ 1999-2009
- 24 先代樋山繁社長功績
- 25 経営理念／社是／経営方針／品質方針／環境方針
- 26 国家資格取得制度 有資格一覧表
- 27 会社概要／事業内容／会社の特色・特長／主たる御取引先／加盟団体・官庁／取引銀行
- 28 本社・彦根工場・広島支店・ベトナム工場の案内

国産バネ工業の 「モノづくりと 歩んだ80年。」

戦前、戦後を通じ今日迄80年間一途に「モノづくり」に専念してまいりました。振り返ってみればその時代の市場変化に合わせ、柔軟に融合してきたかのように思われます。戦後、物資、機械、設備等の乏しいなか「モノづくり」のすべては人手作業が主で作った製品の出来映えは人（職人さん）の腕次第で決まっていた。そうした中、昭和30年後半に初めて「バネ自動巻取機」という機械をいち早く導入し、時代の各業種に合わせ販路を築き、以降もバネを中心にあらゆる金属製品の「モノづくり」に関して喩え僅かでも可能性があればやってみようの挑戦心を持って進んできました。「モノづくりに歩んだ80年」を機に21世紀は更に設計開発力の強化、技術力の強化育成に重点を置き、更なる前進に努めてまいります。

刊行にあたり

〔不易流行〕

代表取締役社長 樋山 慶次

皆様のあたたかいご支援のもとに、私たちは創業80周年を迎えることができました。これを機に、親愛・誠実・進歩という創業の精神に立ちもどり、現在成すべきことを考え、未来を見据えた企業として努力を続けていく考えです。時代と共にお客様のニーズも多様化してまいりました。皆様のご要望の一つひとつにきめ細かくお応えし、私たちでなければできない本物のモノづくりに全力を注いでまいります。同時に社会の一員としての役割と責任を自覚し、常にステークホルダーの声に耳を傾け、事業活動を通じ実践することにより、社会の永続的発展に貢献するとともに企業価値向上を目指し、社会に愛され、信頼されるグローバル企業を目指します。この80周年は次の90年、100年に向けて力強く発展していくための出発点として位置付けてまいります。今後も皆さまのご期待に沿えるように、全社員一同努力を重ねてまいりますのでより一層のご愛顧、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月



最近10年のあゆみ

2010-2013

【平成22年～平成25年】



- 2010年(平成22年)
- 3月 KEYENCE製 画像寸法測定機 IM-6020 導入。
 - 4月 生産管理システム(NKS = New Kokusan System) 構築。
 - 9月 慰安旅行 広島(宮島、岩国)。
 - 10月 スポーツ大会(運動会)…翌年以降も毎年恒例の行事として開催。



主な出来事(国内、海外) ■【日本】第3.9世代携帯電話(3.9G)が登場(LTE、4G)。
【ベトナム】ハノイ建都1000年祭。

当時の取組み(主な技術開発と新製品について)

NISSANの電気自動車(EV車)に搭載されるサービス・ディスプレイコネクタスイッチの構成部品として、当社独自の工法を用いた製品(12片パネ)を採用頂きました。

EV TERMINAL CONTACT



- 7月 ベトナム人技能研修生(第1期生 4名)入社。
- 9月 慰安旅行 東京(東京スカイツリー、他)。
- 12月 住友電装株式会社様から品質表彰を受賞。



主な出来事(国内、海外) ■【日本】東京スカイツリー開業。【海外】ロンドン五輪開催。

当時の取組み(主な技術開発と新製品について)

専用設備(マルチプレス)から汎用設備(順送プレス)を用いた工法転換に成功。

BC端子



- 2011年(平成23年)
- 3月 東北大震災発生。義援金を寄贈。
 - 4月 K-Boys(野球)発足。
 - 6月 K-Smile(バレーボール)発足。
K-Rose(登山)発足。
 - 7月 KBKクリーン作戦(地域清掃活動)…翌年以降も毎年恒例の行事として開催。
 - 9月 慰安旅行 タイ(バンコク)。
 - 11月 表面処理(コーティング)事業を総業開始。(広島支店)



KBKクリーン作戦

主な出来事(国内、海外) ■【日本】東日本大震災発生。東京電力が計画停電。アナログ放送完全終了。
【ベトナム】3期目のズン内閣が決定。

当時の取組み(主な技術開発と新製品について)

冷間プレス加工による鍛造加工技術を開発。
(経済産業省の委託事業)

三相充電プラグ端子



- 2012年(平成24年)
- 1月 ベトナム南部進出に向けた視察開始。
 - 3月 ソディック製 ワイヤカット AQ400L 導入。



- 5月 ソリッドワークス社製 ソリッドワークス3D-CAD 導入。



- 2013年(平成25年)
- 3月19日 KBK VIETNAM CO.,LTD.設立。
 - 3月 オークマ製 マシニングセンタ MILLAC561V II 導入。



ライセンス授与式

- 4月 (一社)日本ばね工業会協賛 優良社員表彰式。
慰安旅行 ベトナム(フエ、メコンデルタ)…建設前のKBK VIETNAM工場を全従業員で見学。
- 5月 Ho chi minhに仮事務所設立。(KBK VIETNAM)
- 6月 地鎮祭(工場工事着工)。(KBK VIETNAM)



- 10月 滋賀労働基準協会総会から安全衛生関係企業表彰受賞。

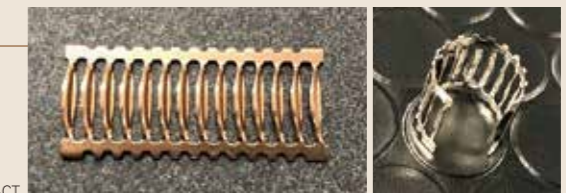


主な出来事(国内、海外) ■【日本】長嶋茂雄氏、松井秀喜氏に国民栄誉賞。富士山が世界文化遺産に登録決定。プロ野球 楽天が初めての日本一。

当時の取組み(主な技術開発と新製品について)

2010年の取組の功績もあり、TOYOTAの燃料電池車(FCV)に搭載される構成部品として、当社の独自工法を用いた製品(14片)を採用頂きました。

TERMINAL CONTACT



最近10年のあゆみ

2014-2015

【平成26年～平成27年度年】



2014年 (平成26年)

- 4月 KBKGOLFCLUB (ゴルフ) 発足。
慰安旅行 東北 (仙台、他)。
- 7月 矢崎総業株式会社様から品質優良賞を受賞。
- 8月 豪雨による大規模土砂災害発生 (広島県広島市)。義援金を寄贈。
アマダ製 C型プレス TP45EX(S型) 導入。(KBK VIETNAM)
アイダ製 C型プレス NC1-800(2)E 導入。(KBK VIETNAM)
アイダ製 門型リンクモーションプレス NS2-1100(1NL) 導入。(KBK VIETNAM)
ISIS製 高速プレス N30 導入。(KBK VIETNAM)
CHIEN WEI製 二次元画像検査機 CW-2515N 導入。(KBK VIETNAM)
島津製作所製 エネルギー分散型蛍光X線分析装置 EDX-7000 導入。(KBK VIETNAM)
島津製作所製 紫外可視近赤外分光光度計 UV-Mini1240 導入。(KBK VIETNAM)
東京精密製 粗さ測定器 1400G-12 導入。(KBK VIETNAM)
ニッコー製 成形平面研削盤 F-515H 導入。(KBK VIETNAM)



- 9月 竣工式。(KBK VIETNAM)



- 11月 大阪府 職業能力開発促進大会 表彰式。
- 12月 住友電装株式会社様から品質優秀賞を受賞。



- 主な出来事 (国内、海外) ■ 【日本】 STAP細胞論文問題。消費税8%化。
【ベトナム】 初めてのPKOへの要員派遣。

当時の取組み (主な技術開発と新製品について)

初めての海外進出で現地の法律や財務ルール、工場建築地の選定など、多くの課題が発生しましたが、約2年の時をかけ、無事にベトナム工場を竣工する事が出来ました。これもひとえに数多くの協力会社様方の導きと社員各位の協力のお陰と厚く御礼申し上げます。



2015年 (平成27年)

- 1月 大阪府 表彰式。
- 3月 大阪府展示会出展。(大阪スマートエネルギー パートナース交流会)。
- 4月 慰安旅行 ベトナム、カンボジア(アンコールワット等) …KBKVN工場完成後に全従業員で見学。
- 5月 (一社)日本ばね工業会主催 表彰式
「優良ばね製造技能者表彰」「優良社員表彰」。
第一電子工業株式会社様と取引開始。
滋賀労働基準協会彦根支部「無災害記録達成証」授与式。
- 10月 古河AS株式会社様及び
Furukawa Automotive Parts (Vietnam) Inc.様と取引開始。
- 11月 産業学ビジネスマッチングフェア(マイドームおおさか)出展。
- 12月 岡本工作所製 平面研磨機
PSG84DX 導入。



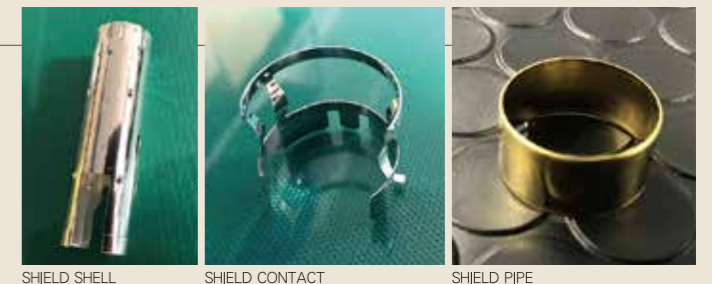
- 主な出来事 (国内、海外) ■ 【日本】 日経平均株価で約15年ぶりに終値で2万円の大台を回復。
マイナンバー通知カード配達開始。
【ベトナム】 KBK VIETNAM CO.,LTD. 佐々木社長 挙式 (2015.11.15)。
第2次世界大戦後の独立宣言から70年。
ハノイで記念式典が開催。
グエン・フー・チョン書記長の日本訪問。



平面研磨機PSG84DX

当時の取組み (主な技術開発と新製品について)

HONDAの燃料電池車 (FCV) に搭載される構成部品として、当社の独自工法を用いた製品を主体に幅広く採用頂きました。



TOYOTAのカローラ等に搭載される構成部品として、当社の板ばね加工技術・熱処理技術・ASSY技術を用いた製品を採用頂きました。



SPRING ASSY

最近10年のあゆみ

2016-2018

【平成28年～平成30年】



2016年 (平成28年)

- 2月 ビジネスリンク商売繁盛(名古屋ドーム) 出展。
- 3月 大阪府 商工関係者表彰式。
ベトナム人技能研修生(第3期生 3名) 入社。
輸出権・輸入権取得。(KBK VIETNAM)
- 4月 量産立上げに向けた技術支援(JP→VN)。(KBK VIETNAM)
慰安旅行 沖縄(世界遺産)。
- 9月 DDK VIETNAM LTD.様と取引開始。
(KBK VIETNAM)
- 10月 量産稼働開始。(KBK VIETNAM)
KEYENCE製 ワンショット3D形状測定器 VR-3020 導入。
- 11月 ソディック製 ワイヤカット
ALN600G 導入。
- 12月 住友電装株式会社様から品質表彰受領。
岡谷鋼機株式会社様及びニチコン草津株式会社様と取引開始。



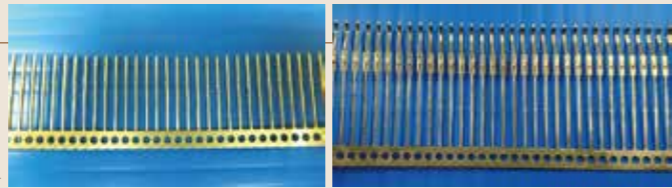
ワイヤカット ALN600G

- 主な出来事 (国内、海外)**
- 【日本】三菱自動車が日産の傘下入り。シャープが鴻海の傘下入り。
 - 【世界】リオ五輪開催。米大統領選 トランプ氏が勝利。
 - 【ベトナム】フック内閣誕生。オバマ大統領が訪越。

当時の取組み (主な技術開発と新製品について)

ベトナム南部でのKBKVNの強みを生かし、民生向けコネクタ端子の量産を開始。

コネクタ端子



2017年 (平成29年)

- 1月 生産管理システム(NKS) 機能強化Version-UP。
- 2月 ベトナム ハノイ ものづくり展示会出展。
(KBK VIETNAM)
キョーリ製 ANEX40 II W 導入。
NIKON製 CNC画像測定システム
VMA-2520 導入。(KBK VIETNAM)
KEYENCE製 画像寸法測定機 IM-6020 導入。
(KBK VIETNAM)
- 4月 キョーリ製 ANEX40 II W 導入。(KBK VIETNAM)



ものづくり展示会



ANEX40 II W



VM-2520



IM-6020



ANEX40 II W (KBK VIETNAM)

- 5月 慰安旅行 台湾(台北)。
(一社)日本ばね工業会 本部総会 支部役員表彰式。
- 6月 (一社)日本ばね工業会 表彰式
「優良社員表彰」「優良技能者表彰」。
- 8月 LEVER SPRING ASSYライン完成。



2018年 (平成30年)

- 1月 大阪府 優良社員表彰式。
- 2月 ビジネスリンク商売繁盛(INTEX大阪)出展。
Harmonie Golf Park 会員権取得。(KBK VIETNAM)
夕宴会(定期)KBKVN全従業員参加の食事会。(KBK VIETNAM)



- 3月 国際女性の日(毎年3月8日) KBKVN全女性従業員へ
プレゼント贈呈。(KBK VIETNAM)
グローバル人材交流制度発足。(KBK & KBKVN)
- 4月 グローバル人材交流制度 第1段
(KBK VIETNAM CO.,LTD.推薦) 1名受入実施。
ファイバーレーザー自動溶接ライン完成。
慰安旅行 ベトナム(ダナン)…稼働開始後の
KBKVN工場を全従業員で見学。
(KBKVN合同)



ファイバーレーザー自動溶接ライン

- 5月 ベトナム人研修生(第4期生 6名) 入社。
(一社)日本ばね工業会主催親善野球大会
K-Boys 準優勝
- 6月 ISO9001:2015認証取得。
(KBK VIETNAM)



- 国内全拠点のIP電話リニューアルによる内線開通。
(一社)日本ばね工業会主催 表彰式
「優良ばね製造技能者表彰」
「優良社員表彰」。



主な出来事 (国内、海外)

- 10月 ベトナム女性の日(毎年10月20日)
女性従業員へプレゼント贈呈&BBQ。
(KBK VIETNAM)
 - 10月 JQA ISO/IEC27001
認証取得(本社)。
 - 11月 彦根市 優良社員表彰式。
 - 12月 住友電装株式会社様から品質表彰受領。
- 【日本】タカタ破綻。
■ 【世界】トランプ大統領就任。
■ 【ベトナム】天皇、皇后両陛下が初のベトナム訪問。
APEC首脳会談に際し、トランプ大統領が訪越。



当時の取組み (主な技術開発と新製品について)

HONDA N-BOX向けのBUSBARの量産をKBK VNで開始するとともに、民生向けコネクタ端子の量産品種増加。



JQA ISO/IEC27001
認証取得(本社)

2018年(平成30年)

- 6月 誕生日会(毎月恒例) 誕生日のKBKVN従業員を御祝。(KBK VIETNAM)
- 7月 STAFF用 制服リニューアル。(KBK VIETNAM)
西日本豪雨災害発生。
義援金を寄贈。
- 9月 株式会社東洋シート様 受注拡大の為、
コーティング設備増設(広島支店)。
中秋節(Tet trung thu)月餅を
KBKVN全従業員に贈呈。(KBK VIETNAM)



月餅 (Banh trung thu)

- 10月 就業TimeProシステム拡張(セキュリティ強化)。
トヨタ自動車株式会社様 技術商談会(技術提案)。
マキノフライス製作所製 マシニングセンタ V56i 導入。
オリメック製 NCREベラフィーダ LCC04SA 導入。



マシニングセンタ V56i



- 10月 80周年記念事業として 80周年記念ロゴの作成。
(1年間限定使用)
- 11月 アマダ製 デジタル電動サーボプレス SDEW3025 導入。
(KBK VIETNAM)
80周年記念誌発刊。
80周年記念ホームページ リニューアル。
KBK VIETNAM CO.,LTD. ホームページ 開設。
- 12月 80周年記念式典。



- 主な出来事(国内、海外)**
- 【日本】 仮想通貨流出事件。
 - 【世界】 南北首脳会談 - 韓国と北朝鮮による首脳会談。
米朝首脳会談 - トランプ大統領と金正恩による首脳会談。
 - 【ベトナム】 中部ダナンでオープンしたユニークな橋
「Cau Vang (Golden Bridge)」が人気。

当時の取組み (主な技術開発と新製品について)

ファイバーレーザー自動溶接を用いた世界初の厚物溶接の
量産を開始。
音叉BUSBARの新規受注獲得。



音叉BUSBAR (写真は類似品)



デジタル電動サーボプレス
SDEW3025

Manufacturing Network

KBKのグローバルな生産活動の展開

Establishing production in different parts of the globe

世界的なスケールで事業を展開していくには、製品の生産だけでなく
それを支える情報や物流のネットワークが必要とされます。
CSR 活動を経営戦略に組み込む事により、企業価値を創造し、
地域の多様な人材を包括的に組み込んでいきます。

Business on a global scale requires a production network and a supporting information and distribution network.
At KBK, we believe in corporate social responsibility as a means of adding value to the firm
and as a means of integrating a whole range of people in the community.



広島支店
Hiroshima Branch



本社
Headquarters in Osaka



彦根工場
Hikone Plant



KBKVN
KBK VIETNAM CO., LTD.

経営・人材・研究開発・モノづくりの分野でのグローバル化を積極的に推進し、
世界中の様々な地域のお客様のニーズに応え、信頼される企業を目指します。

The KBK Group is keen about the globalization of business, human resources,
research and development, and craftsmanship.

We aspire to meet the needs and earn the trust of our customers in different parts of the world.

70年までのあゆみ

1939-1948

【昭和14年～昭和23年】



1939年 (昭和14年) ■大阪市東淀川区 (現在の淀川区) 元今里北通3丁目38番地にて初代社長樋山重則が国産発条製作所を創立。
創業当時、個人で線バネ・板バネ・各種バネを製造し部品問屋へ販売。



創業者 樋山重則氏

1940年 (昭和15年) ■川西航空機製造株式会社の発条指定工場に認定。
以来、戦中においては航空機用の各種バネを製造。



航空機用バネ製品



昭和15年当時の航空機

1945年 (昭和20年) ■終戦軍需産業解体令により閉鎖。

1946年 (昭和21年) ■創業者樋山重則が死去後、妻であった樋山ふじよが創業地において国産バネ製作所に改め操業再開。
機械メーカー及び地域の工場をお得意様としあらゆるバネの製造と販売を営み「大阪のバネ屋さん」と親しまれ他方面からもよく買いに来られお得意様への納入も自転車、リヤカーで配達しておりました。



樋山 ふじよ氏



創業時の工場

世の中の動き

1939 ■独軍がポーランドに侵攻、第二次世界大戦勃発。

1940 ■9月27日、日独伊三国軍事同盟

1941 ■12月1日、御前会議で英米オランダに開戦を決定。太平洋戦争始まる。
8日には真珠湾攻撃開始。

1942 ■ミッドウェー海戦で敗北。

1943 ■高等教育機関に在籍する20歳以上の文科系学生を在学中で徴兵し出征させる学徒出陣始まる。

1945 ■3月13日、米空軍のB29約300機が大阪を空襲。
8月6日広島、9日長崎に原爆投下。
終戦

1946 ■日本国憲法公布。1947年施行。



昭和21年当時自転車による配達風景

当時の取組み (技術開発と製品について)

戦後、資材不足のため、お得意様より注文を受けてもバネ材料がなく、物を作るより材料を見つけて購入することに時間がかかり、苦勞して入手しても、軟らかいもの、硬いもの等、材料にバラつきがあったため製品化するのに相当な困難を要しました。

70年までのあゆみ

1949-1958

【昭和24年～昭和33年】



1953年 (昭和28年)

■戦後28年当時は、空気銃用バネの製造販売に主力をおき、性能・価格共に好評を得て日本全国の鉄砲メーカーの需要を一手に引き受ける。以来一貫してバネと共に歩み70年今日の礎となり、製品開発・品質を追求し、原価低減を目標に取り組む。



空気銃

1955年 (昭和30年)

■三菱電気(株)無線機製作所様とお取引開始。ラジオ・テープレコーダー・ラジオカセット等の各種バネの製作依頼を受け、初めて民生機器用に取り組む。



当時のラジオつきカセットテープレコーダー

1958年 (昭和33年)

■同製作所にて初期カラーテレビ「高雄」生産にあたり線バネ、板バネ、プレス加工品等、金属製品の生産を一手に引受させて頂いた製品群の内プリント基盤に使用されるピン端子、月産5,000千個の生産に着手。



空気銃用バネ製品



当時使用されていた家電・カセットテープレコーダー等、各種バネ製品

世の中の動き

- 1949 ■ 湯川秀樹博士がノーベル物理学賞受賞。
- 1950 ■ 朝鮮戦争勃発。
- 1951 ■ 五百円札(岩倉具視)が発行される。日本発電株式会社解体され、北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州の9電力会社があらたに発足。第1回NHK紅白歌合戦放映。
- 1955 ■ 電気冷蔵庫・電気洗濯機・テレビジョンが「三種の神器」と言われ、主婦の憧れでした。
- 1956 ■ たばこがピース40円。
- 1957 ■ 100円硬貨が登場。
- 1958 ■ 関門トンネル開通。1万円札発行。オートバイ、スーパーカブが人気。

当時の取組み (技術開発と製品について)

当時、空気銃は許可制度でなく誰でも町の鉄砲屋又は運動具店で買う事ができました。構造的にすべての空気銃はバネ式で材料がよくなかったので、折れ、ヘタリが生じ取替品としてよく売れました。しかし、何とか少しでも解決法がないかと試行錯誤の結果、鉛を溶解し流動浸漬法で熱処理(テンパー)を施す事により表面に鉛が付着し接触抵抗が良く耐久性も向上しました。

70年までのあゆみ

1959-1968

【昭和34年～昭和43年】



1959年 (昭和34年)

- 資本金300万円にて国産バネ工業株式会社と法人組織変更。
- 日本に数台しか導入されていない米国NILSON社製フォースライドマシンの導入により、家電、AV、機械器具等に使用される板材、線材加工品は自動成形が可能となり、更に販路拡販を目指す。
- 広島駅前田村ビルに広島営業所開設、初代所長に故木村政義氏就任。



当時の加島工場

1960年 (昭和35年)

- 市場拡大に伴い生産設備増設の為、大阪府と兵庫県の境 神崎川の流れるふもと 大阪市淀川区加島町971番地に 加島工場を建設、操業開始。 金属製品の総合メーカーを目指す。

1961年 (昭和36年)

- 熱間成形コイルバネの生産開始。主に車輛用として阪急電車殿、京福電鉄殿及び鍛圧機メーカー殿へ最大線径φ75の太物バネを納入。
- コイルバネ全自動巻取機(コイルリングマシン)を関西地区では最初に導入し、兵庫、岡山、福山、広島地域の農機具用バネの本格生産に着手。

1963年 (昭和38年)

- AV、家電メーカー殿と共同開発を行い金属製テレビスタンドの生産を開始。市販品含め月産10,000台を達成。

1964年 (昭和39年)

- 鋼製家具メーカー(イトーキ、くろがね、イナバ、東洋事務機、太陽様)各位殿の取引開始が可能となり、主にロッカー用網棚を一手に受注。
- 兵庫県淡路島に線材加工及びスポット溶接専用工場を3社確保し、月産250,000枚の生産開始。

1966年 (昭和41年)

- 中国地方の三菱重工業株式会社様・株式会社神戸製鋼所様・東洋マツダグループ様・リョービ株式会社様とのお取引により、広島市安佐郡安古市町に広島工場を建設し、広島営業所を移転し操業、広島支店として拡充する。

1968年 (昭和43年)

- 資本金600万円に増資。樋山繁氏代表取締役役に就任、樋山博氏専務取締役役に就任。



太物車輛用バネ



金属製テレビスタンド



鋼製家具製品

世の中の動き

- 1959 ■ 皇太子・美智子妃ご成婚。伊勢湾台風。
- 1960 ■ コーヒー60円
カラーテレビ(17インチ)42万円
カラーテレビ放送開始。
- 1962 ■ にせ千円札横行。
- 1963 ■ 名神高速道路開通。
- 1964 ■ 東京オリンピック開催。東海道新幹線が開通。
- 1965 ■ 大学卒の初任給 約2万円。
- 1966 ■ ビートルズ来日。
- 1967 ■ 吉田茂元首相死去。日本武道館で戦後初の国葬。
- 1968 ■ 三億円事件
川端康成氏ノーベル文学賞受賞。

当時の取組み (技術開発と製品について)

コイルバネ全自動巻取機(当時阪付機械第1号機)を導入し機械メーカーも立合って何日も費やしトライしました。しかし、なかなかコイルバネの成形加工ができず、やむを得ず自社で一旦機械を解体し、機械構造を理解し、元へ復帰させる方法を取り、いち早く操作が可能になりました。ただ肝心部の曲げダイス、ツール等の材質が今日ほどの物がなく製品にバラツキを起す為、硬い材質を部分ロウ付けて成形の安定化を図りました。

70年までのあゆみ

1969-1978

【昭和44年～昭和53年】



1969年 (昭和44年) ■当時国内では、紡績産業が盛んであり、機械にはバネを含む金属製品が数多く使われており、近畿北部、北陸地区の機械メーカーとの営業拠点として大津出張所を開設。

1970年 (昭和45年) ■資本金2,400万円、授権9,600万円に増資。

1972年 (昭和47年) ■大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号、現在地に本社工場ビル建設移転し操業。「新社屋披露パーティー」にはお得意様始め関係各位殿多数の御来席で盛大に取り行われました。

■AV機器、家電産業が国内、輸出も好調で当社も大手電機メーカーよりラジオ、テレコ、ラジカセ等のバネ及び機構部品を多量に受注を受け、本社2階にバネ製造設備増設含み27台の生産機で昼夜を問わずフル稼働生産しておりました。当時の機器は殆んどメカ機構で、1台当り約40点程度の各種バネが使用されておりました。

1973年 (昭和48年) ■滋賀県草津市野路町字小野山2143番地に草津工場建設し、大津出張所を統合。村田機械株式会社様始め滋賀県北陸地区の顧客取引窓口とし、ニーズを先取りサービスを提供。

1974年 (昭和49年) ■農作物、海産物等の物量が増えると共に、樹脂成形コンテナの需要が伸び線材加工品の持手の生産が追いつかず、米国NILSON社製大型フォースライドマシンとマルチベンダー2基を増設し、顧客対応が可能となった。



フォースライドマシン

1975年 (昭和50年) ■以前は車輛機器、農機具、家電、事務機器等の製品が中心でありましたが、ここで初めて自動車部品（車載品）に取組みました。当時シートベルト装着車は少なく装着法令もありませんが、シートベルトメーカーへ拡販時にピラーリップアンカー（ベルトを支える金具）及びリトラクターベース（ベルトの繰出し、巻込み装置）に使用するバネ材の加工、高張力鋼板のプレス加工品の依頼を受け顧客設計開発の方々と度々重なる技術検討の結果、約半年後に量産可能となりました。

1977年 (昭和52年) ■電子レンジマグネトロンチョークコイルの生産にあたり、大手電子機器メーカー殿と製法の共同開発を約1年半の期間を要し、製品化を実現する。



完成した剥離機



剥離機とコイルマシン連結



新社屋



竣工披露パーティー



シートベルト用金具

世の中の動き

1969 ■ 人類初の月面着陸。日本のGNPが西側諸国で第2位に。東名高速道路全線開通。

1970 ■ 大阪で日本万国博覧会が開催。日航「よど号」事件。総理府、人口一億人突破と発表。

1971 ■ ドル・ショック勃発。

1972 ■ 浅間山荘事件

1973 ■ オイルショック (石油危機)

1975 ■ ベトナム戦争終結。

1976 ■ ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕。

当時の取組み (技術開発と製品について)

電子レンジマグネトロンチョークコイルはエナメル銅線の両端をコンデンサーにプラズマ溶接するため、部分的に剥離する必要があります。当時の状況はコイル成形後に薬品を使い部分的に表面エナメルを剥離していましたが、家電製品の増産体制に追従できなく又、コスト面においても問題がありました。そこで機械的に部分剥離できないかと考え試作機の繰返しで1年半を経て完成に至り、完成した剥離機とコイルマシンを連結させる事により製品の完全自動化を実現しました。

70年までのあゆみ

1979-1988

【昭和54年～昭和63年】



1980年 (昭和55年) ■1980年代は電子レンジマグネトロンチョークコイル自動化ライン生産により、電子レンジ用電子コイルで全国シェア100%確保し、海外家電メーカーへも輸出を開始。

1981年 (昭和56年) ■神奈川県川崎市高津区久地113番地に東京出張所を開設。株式会社東芝、堀川町工場様、日立茂原工場様への拡販を図る。

1982年 (昭和57年) ■資本金7,200万円に増資。
大阪市淀川区三津屋中3丁目3番7号に総工費20億円投入しプレス事業部を建設、操業。新鋭大型プレス機16台導入で業界や新聞でも話題になる。その間、自動車用シートベルトや自動車部品の大量生産で日に4トン車が2～3回往復し、昼夜関係なく二部生産体制にて対応。家電製品においては、ビデオデッキの外装カバーのパネルトップの生産を大型プレス機4台とロボットマシンにより生産し、業界で注目を集める。NHKの今話題の中小企業の新技术という特集番組から取材を受けテレビで紹介。



プレス事業部 第二工場 新築披露式典

1984年 (昭和59年) ■資本金9,800万円に増資。

1986年 (昭和61年) ■静岡県浜松市に浜松支店開設、東京出張所を統合。矢崎総業株式会社様に密着した拡販推進を図る。

1987年 (昭和62年) ■滋賀県彦根市宮田町21番地に彦根工場建設、操業。総工費20億円。生産ラインワンウェイ計画に適した、敷地面積9,985.29㎡の工場。一年前からの、大阪本社工場(パネ事業部・プレス事業部)・広島工場を統合した集中生産工場(夢工場)の建設移転計画でした。自動車用部品・家電製品パネルトップも大型商品で生産即出荷という在庫を作り置く余裕も無い状態で操業しながらの移転計画で、整地・機械設備の基礎固め等と1ヶ月の突貫工事となる。お客様には決してご迷惑を掛けられないという思いから大阪生産部は日々の納入分と移転の期間の納入分の作りこみで1ヶ月間は寝る間もなく移転に向け一心不乱に生産。8月の大型連休の7日間で完了するという神業で移転計画を成功させる。



建設当時の彦根工場外景

世の中の動き

- 1979 ■英国マーガレット・サッチャー、ヨーロッパ初の女性首相になる。
- 1981 ■神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)開催。
- 1982 ■東北・上越新幹線開通。
- 1983 ■東京ディズニーランドがオープン。ファミリーコンピュータがファミコンと呼ばれ広まる。
- 1984 ■グリコ・森永事件。1万円札(福沢諭吉)、五千円札(新渡戸稲造)、千円札(夏目漱石)の新札発行。
- 1985 ■日航ジャンボ機が群馬県の御巣鷹山の尾根に墜落、乗客乗員520人が犠牲になる。
- 1986 ■伊豆大島の三原山が209年ぶりに噴火。イギリスのチャールズ皇太子とダイアナ妃が来日。チェルノブイリ原発爆発事故。
- 1987 ■国鉄が114年の歴史を閉じ分割民営化、JRグループ発足。地価の異常高騰。
- 1988 ■青函トンネル開業。瀬戸大橋開通。日本初の屋根付き球場「東京ドーム」完成。



コンデンサー溶接ライン



チョークコイル自動化ライン



VTRパネルトップ及びシャーシ

当時の取組み (技術開発と製品について)

昭和57年当時、ビデオデッキのパネルトップは初期から数年間、普通鋼板をプレス形成後に塗装をしていましたが量が増えると共に品質、コストにおいて問題を生じていました。塗装鋼板を使えば後塗装の必要性は無いと考え、鋼板メーカーで試作材料の提供を受け、取引メーカーへ提出するが「屋根、壁に使っているカラー鋼板」と同じにするなど厳しく叱られ、なかなか採用が決まりませんでした。当時、ビデオは1台15万円～20万円するほどの高級品であり、特に外観品質は厳しいものがありました。その後、鋼板メーカーの工場へ何度も出向き、品質改善を試み、試作試作の繰返しでした。約1年後すべてのテストを終えサンプル提出し合格に取付けました。その後、殆ど全ての電気機器の外装パネルはカラー鋼板を採用するようになりました。

70年までのあゆみ

1989-1998

【平成元年～平成10年】



1989年 (平成元年) ■新鋭高速プレス機の導入と全自動巻取機の導入で自動車部品製品の生産が50%を占める。

1990年 (平成2年) ■電子レンジマグネトロンチョークコイル単体部品から
継鉄とフィルターケースの角筒の絞り製品の生産とコンデンサーとチョークコイルの溶接による
電子レンジマグネトロンアッセンブリー製品として松下電子工業様に納品開始。

1995年 (平成7年) ■1月17日午前5時46分に起きた突然の阪神大震災で、大阪本社被災。

1997年 (平成9年) ■ガソリンエンジンなど従来型の内燃機関に電気モーターを組み合わせて各動力を制御し、
走行条件によって最も高いエネルギー効率で走る自動車、ハイブリッド車。

12月にトヨタ自動車が初のハイブリッド車「プリウス」を発売し市場を切り開いた。燃料を消費するエンジンの使用を約1/2に抑えて、地球温暖化につながる二酸化炭素(CO2)などの排出量を約1/2減らすことができる。水素を燃料に使う燃料電池車よりも低価格で実用化・生産できるため、業界では2004年(平成16年)に世界で約20万台の市場規模が2010年(平成22年)には300万台を超える計画でありました。



通電機能と高圧回路から発生するノイズを遮断する製品

当社が研究開発した特許権の高電流接触端子は、ハイブリッド車のバッテリーからインバーターを経由してモーターに最大200Aの大電流を供給する接続端子です。

■新生産方式の開発により、環境、省エネ改善により新分野進出事業として大阪府ベンチャービジネスコンペで優秀賞を受ける。

■連鎖ターミナル多列取り生産方式により大幅な省資源、省エネ効果で大幅な原価低減を達成し、矢崎総業株式会社代表取締役社長矢崎裕彦様より特別賞を受ける。

■連鎖型ターミナル製造方法及び反転巻取り装置の特許取得。



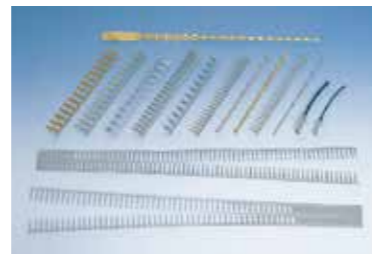
矢崎総業株式会社様 特別賞表彰状



大阪府ベンチャービジネスコンペ 優秀賞

1998年 (平成10年) ■矢崎総業株式会社様を通じトヨタ・日産・フォード車の生産で地球にやさしいハイブリッド車
導通端子製品の製法開発に取り組んで参りました。

■ISO9002認証取得。



多列取り製品群



多列取りターミナルの反転巻取装置



ターミナル生産ライン



マグネトロンチョークコイルアッセンブリー製品



高電流端子の生産ライン



改修後の本社ビル

世の中の動き

- 1989 ■ 昭和天皇崩御
消費税スタート(3%)
天安門事件発生
ベルリンの壁崩壊
- 1990 ■ 大阪で「国際花と緑の博覧会」開催
- 1991 ■ バブル崩壊
湾岸戦争勃発
ソ連崩壊
- 1992 ■ 日本人初の宇宙飛行士毛利衛さん宇宙へ
- 1993 ■ 皇太子・雅子さまご成婚
サッカーJリーグ開幕
- 1995 ■ 1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災発生。
死者6432人、約51万棟の住宅が全半壊、一部損壊し、
都市型基盤をほぼ壊滅状態に陥れた。
3月20日、地下鉄サリン事件発生
- 1996 ■ 病原性大腸菌「O-157」による
集団食中毒が日本列島を襲った。
- 1997 ■ 金融機関の経営破綻相次ぐ
消費税3%から5%に
- 1998 ■ 長野冬季オリンピック開催
和歌山カレー毒物混入事件発生

当時の取組み (技術開発と製品について)

平成9年当時、連鎖ターミナルの受注が毎月2品番組合わせて20,000千個量産しておりました。使用機械が限られているため3直体制で賄っていましたが、何か異常でも発生すれば即ち納期問題に継がる事の懸念と、高価な黄銅材を月20トン使用しており、その納期問題及び原価低減の観点から最善の方法として噛み合わせ多列取り生産工法を検討しました。先ず金型製作が可能かをシャープ精機(現シャープマニファクチャリング)に検討依頼しましたが、なかなか良い解答がなく相互間において更に前向きにできる方法を幾度とも話し合いました。結論は「やってみないと良否の判断は難しい」となり、最悪の場合、その発生費用を被る決心にて着工に踏切り、ようやく半年後に製品化が実現できました。その工法により材料費18%及び加工費が半減となり大幅な原価低減が達成できました。その成果発表を全社合会の中で行い、当年矢崎総業株式会社様より社長特別賞とし大きく表彰を頂きました。その後タイ工場へ同種の多列取り金型を2式納入致しました。

70年までのあゆみ

1999-2009

【平成11年～平成21年】



2000年 (平成12年)

■高電流接触端子の製造方法 (HYBRID) 特許申請。

2002年 (平成14年)

■11月、社団法人日本ばね工業会中国視察団西部支部団長として先代榎山繁社長が上海浦東国際空港にて東部支部中国視察団と合流。総数17名を引率し、近々開通する空港からのリニアモーターカーの軌道橋などを視察。
■生産品目構成は、自動車関連部品が全体の75%を占め、住設・産業機器関連部品が10%、家電・水道・土木関連部品が各5%に変化。



中国視察

2003年 (平成15年)

■矢崎総業株式会社様を通じ、PRIUS (2代目) 向け高電流接触端子の生産が倍増する中、HONDA OF AMERICA (HOA) のACCORD-HYBRID向け高電流接触端子の生産を開始。
■彦根工場 ISO9001移行。

2005年 (平成17年)

■HOAより日本第1号車となるACCORD-HYBRIDを逆輸入し、当社の高電流接触端子の使用用途等の研究・技術開発に取組。
■産業功労企業として大阪府優良企業知事表彰受賞。



大阪府優良企業知事表彰 大阪府科学功績賞

2006年 (平成18年)

■各種発明特許証等による大阪府科学功績賞受賞。
■代表取締役社長に榎山慶次が就任。
■4月21日、去る3月18日に死去された先代榎山繁社長の社葬が大阪府浄土真宗本願寺派「津村別院北御堂」において執り行われる。業界から約500人、多くの知人、友人に御参列いただく。
■住友電装株式会社様よりPRIUS (3代目) 向け車載部品等を多数受注。



先代榎山繁社長銅像除幕式

2007年 (平成19年)

■1月、大阪府主催、マツダ展示会に出展。
■3月10日、先代榎山繁社長銅像除幕式が御来賓及び社員により執り行われる。
■4月、東京ビッグサイトにて金属プレス加工技術展2007に出展。
■日本電産株式会社様より自動車用MISSION MOTOR CONNECTORの導通端子全般を新規受注。
■彦根工場 ISO14001認証取得。



広島支店ISO9001認証取得

2008年 (平成20年)

■2005年に計画した3ヶ年設備投資 (営繕含む) が完了 (総工費2億円)。AIDA 300tプレス (NS2-3000O)、Sodick ワイヤークット、平面研摩機、NIKON CNC画像測定機、TM全数画像検査装置、旭精機 CNC UNIVERSAL SPRING FORMER (USF PC-4)、無機熔済洗浄装置 (環境対応) 導入。
■広島支店 ISO9001認証取得。



2009年 (平成21年)

■3月21日 (土)、70周年記念事業。



先代榎山繁社長社葬



住友電装様向け車載製品

日本電産様向け車載製品



マツダ展示会

マツダ展示会



金属プレス加工技術展2007

金属プレス加工技術展2007

世の中の動き

- 2001 ■ 9月11日、アメリカで同時多発テロ事件発生
- 2002 ■ 小柴昌俊氏、ノーベル物理学賞受賞
田中耕一氏、ノーベル化学賞受賞
- 2003 ■ 新型肺炎 (SARS) 世界各地で発生
イラク戦争勃発
個人情報保護法成立
- 2004 ■ 新潟県中越地震が発生
スマトラ沖地震が発生
- 2005 ■ JR福知山線脱線事故発生、死者107名を出す大惨事
- 2006 ■ ライプドア、東京地検特捜部の強制捜査
秋篠宮妃紀子様ご出産、皇室に41年ぶりの男児誕生
- 2007 ■ 新潟県中越沖地震が発生
社会保険庁の年金問題が起こる
食品偽装事件相次ぐ
- 2008 ■ 洞爺湖サミット
ガソリン・小麦等輸入品価格が高騰

当時の取組み (技術開発と製品について)

初期TOYOTA PRIUS HYBRID車立ち上げ時、エンジンルーム周辺に搭載されている導通用高電流接触端子の製品開発並びに機構開発には矢崎総業殿の設計各位、開発各位の皆様にご指導を得て、当社独自の生産工法を複合し、提案したところ品質、コスト面に優れているのが認められ採用が決まりました。その後、新型車にも継続採用となり、他メーカーのHYBRID車にも当社製品が数多く使用されています。振り返れば初期 (平成9年) にこの件案を頂いた時、一体どのようにして作っていったらよいか全く製造方法が掴めず、取りあえず何か形を作ろうと暗中模索、手探りの状態でした。約1年半の時をかけた思いでお客さまに満足いただける製品実現が可能となり、量産体制が整備できました。これもひとえに顧客設計開発各位殿と社員各位の協力のおかげと厚くお礼申し上げます。

先代 榎山繁社長功績

企業の発展は社会への貢献との信念から業績の向上に心血を注ぎ、昭和44年11月代表取締役就任後、同年資本金600万円にし以後増資を重ね昭和59年には9,800万円に現在に至っています。同時に各地に事務所・支部を開設し生産工場も35年に加島工場・47年本社及び工場・49年に草津工場・62年に彦根工場を次々に完成せしめ最終的に本社工場以外を彦根工場に集約しました。その間、新分野の研究開発を積極的に推進し特許プレスシステム・実用新案ボルトの防食用装置等により事業の発展をはかり、企業としての基盤を揺るぎないものとし同時に社会に貢献しました。

一方、社団法人日本ばね工業会西部支部の副支部長として又経営委員会副委員長として組織率の向上を叫ばれ、率先垂範その任にあたり組織率を著しく向上させた功績は高く評価されています。



事業経歴

昭和29年 5月 国産バネ工業製作所 入社
 昭和34年11月 国産バネ工業株式会社に改組 専務取締役役に就任
 昭和43年 7月 代表取締役社長に就任

団体経歴

昭和57年 4月～平成 5年 4月 社団法人日本ばね工業会 支部理事
 平成 5年 4月～平成18年 3月 社団法人日本ばね工業会 支部副支部長
 昭和52年 7月～昭和62年 6月 大阪東淀ロータリークラブ 理事
 昭和62年 7月～平成18年 3月 大阪東淀ロータリークラブ 副会長
 平成 1年 ～平成 3年 大阪東淀ロータリークラブ 会長
 昭和51年11月～平成18年 3月 社団法人阪神馬主協会 理事

受賞・表彰歴等

昭和33年 3月 三菱電機株式会社テレビ用スプリング開発賞受賞
 昭和39年 5月 三洋電機株式会社テレビスプリング端子開発賞受賞
 昭和45年 4月 自動販売機紙コップ収納システム実用新案特許取得
 昭和62年 5月 関西大学教育後援会会長として表彰される
 平成 3年 6月 国際ロータリー米山功労者として表彰される
 平成 5年 5月 社団法人日本ばね工業会理事として表彰される
 平成 5年 8月 プレスシステム特許第1780080号取得
 平成 5年 9月 大阪府警察本部優良運転者として表彰される
 平成 7年 1月 ボルトの防食用装置実用新案平06第011596号取得
 平成 9年 9月 新事業進出事業大阪府ベンチャービジネスコンペで優秀表彰受ける
 平成10年 5月 大阪府産業功績知事表彰される
 平成11年11月 回転操作工具平11-325544特許取得
 平成14年 4月 連鎖型ターミナル状部品の反転巻取装置特許第3297349号取得
 (平成09年特許願第162378号特許取得)
 平成14年12月 連鎖型ターミナル状部品の反転巻取装置特許第3378753号取得
 (平成09年特許願第018594号特許取得)
 平成16年 1月 接触端子の製造方法特許第3516896号取得
 (特願2000-029451 特許取得)
 平成18年 3月 大阪府科学技術功績賞受賞する



経営理念

1. 我社は自動車機器、電子機器のメーカーとし事業を通じ広く社会に貢献すると同時に、我社の事業繁栄を計ることを念頭とする。
2. 社会に貢献する手段とし、商品を通じ産業社会の向上、発展に寄与しその為我社の商品の品質、価格、納期、環境及びサービスにそれぞれ最善を尽くす。
3. ここで特に品質を第一と考える事を理念とし、顧客優先の精神に徹し最良の製品、最高の品質を指向する。

社 是

- 親愛 相互関係に親しみを感じ接しあう
 誠実 真心をこめた仕事を行う
 進歩 進んだ思想をもった仕事を行う

経営方針

1. 品質至上に徹し顧客の信頼を得る品質を提供する。
2. 顧客に満足を得る商品とサービスを提供し、社会の発展を期する。
3. 親愛、誠実、進歩の社是を高揚し、全社員が一丸となり、広く社会に貢献する。
4. 新しい感性と不断の改善で企業効率向上をはかり、お客様へ最高の品質と価値を提供する。
5. 法を守り、環境と安全を最優先とした企業活動を行い社会発展に貢献する。
6. CSR活動を通じて企業の永続性を実現し、持続可能な未来社会を築く。

品質方針

5Sを基本にゼロ指向文化へ全員が改善活動を通じて不良ゼロ体制を確立しダントツNo.1企業を目指す。

品質目標

1. 重要品質問題ゼロ
2. 顧客品質評価：顧客目標値の達成
3. 顧客納入クレームゼロ
4. 工程内不良ゼロ化



研修会



環境方針

私たちは経営理念に基づき、地球環境保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、すべての企業活動及び社員一人ひとりの行動を通じ、住みよい地球と豊かな社会作りに取り組みます。

1. 法規制の遵守 / 国内外の法規制を遵守するとともに、環境負荷物質低減の為に自主的な目標を設定し、その実現にむけた取り組みを推進する。
2. 環境管理体制の確立 / 事業活動全ての領域においてISO14001に準じた環境管理体制の整備、充実を図る。
3. 環境調和型製品の開発 / 製品企画段階からのライフサイクルを考慮し、環境調和型製品の開発、設計の実現を実施する。
4. 環境負荷の削減 / 生産・開発・営業・物流・サービスなど全ての事業活動で省エネルギー及び省資源活動を推進し、廃棄物及び環境負荷物質を削減する。
5. グリーン購入の推進 / 資材、副資材、機器、備品、及び用品などのグリーン購入・調達を推進する。
6. 環境意識の高揚 / 環境教育を通して社員一人ひとりの環境意識を高め、自ら環境保全活動に取り組めるように啓蒙する。
7. 社会貢献 / 行政・地域などとの連携を図り環境保全活動の積極的な情報交流、情報開示を行うとともに社会貢献に努める。



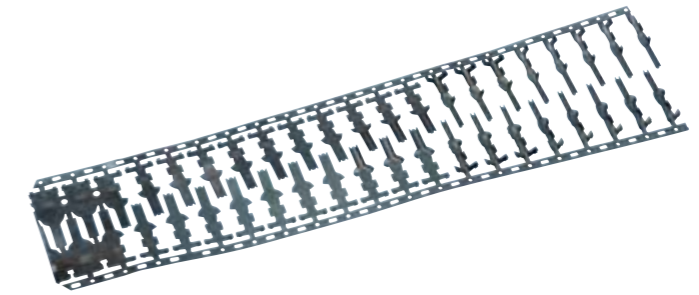
国家資格取得制度 有資格一覧表

(2018年10月31日現在)

「第一種衛生管理者」	彦根工場	1名
「一級金属ばね製造技能士」(線ばね製造)	広島支店	3名
「一級金属ばね製造技能士」(薄板ばね製造)	広島支店	2名
「一級金属プレス加工技能士」(金属プレス作業)	彦根工場	4名
「二級金属プレス加工技能士」(金属プレス作業)	彦根工場	3名
「二級金型製作技能士」(プレス金型製作)	彦根工場	1名
「二級金属ばね製造技能士」(薄板ばね製造)	彦根工場 広島支店	3名 1名
「二級金属ばね製造技能士」(線ばね製造)	広島支店	1名
「二級金属熱処理技能士」(一般熱処理作業)	広島支店	3名
「公害防止管理者」(騒音・振動)	彦根工場	2名
「防火管理者」	彦根工場	1名

一般社団法人日本ばね工業会 表彰

2017年5月26日	優良バネ製造技能者 優良バネ製造技能者	「金賞」受賞 「銀賞」授賞
2018年6月 5日	優良バネ製造技能者 優良バネ製造技能者	「金賞」受賞 「銀賞」授賞



会社概要

会社名 国産バネ工業株式会社
 本社所在地 大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号
 創立 1939年(昭和14年)4月
 設立 1959年(昭和34年)11月
 代表取締役 樋山 慶次
 資本金 9,800万円
 従業員数 100名

事業内容

自動車、自動車部品、航空機、建設機械、
 精密機器、産業機器、電子、電気、
 情報通信機器、環境保全、住宅、レジャー等に
 使用される金属製品及び複合製品の製造販売

会社の特色・特長

- ホースバンド生産ライン
- 電子コイル自動生産ライン
- ターミナル自動生産ライン
- ハイブリッド電気自動車用高圧部品生産ライン
- LEVER SPRING ASSYライン
- ファイバーレーザー自動溶接ライン
- コーティングニューライン

主たる御取引先

- 自動車部品メーカー
- 電機メーカー
- 電子部品メーカー
- 精密機器メーカー

加盟団体・官庁

一般社団法人日本ばね工業会
 一般社団法人大阪金属プレス工業会
 一般社団法人日本LPガス供給機器工業会
 大阪商工会議所
 彦根商工会議所

取引銀行

近畿大阪銀行十三支店
 りそな銀行歌島橋支店



本社



〒532-0036
 大阪市淀川区三津屋中3丁目1番1号
 TEL.(06) 6309-3551 (代)
 FAX.(06) 6301-3552
 E-mail kbk.honsya@banec.jp



彦根工場



〒522-0003
 滋賀県彦根市宮田町21番地
 TEL.(0749) 26-3551 (代)
 FAX.(0749) 26-3554
 E-mail kbk.hikone@banec.jp



広島支店



〒731-0121
 広島市安佐南区中須1丁目13番21号
 TEL.(082) 877-1186 (代)
 FAX.(082) 877-1138
 E-mail kbk.hiroshima@banec.jp



グループ企業



KBK VIETNAM CO.,LTD
 Lot B_4B1_CN, Road DE2&NE5B,
 My Phuoc 3 Industrial Park,
 Thoi Hoa Ward, Ben Cat Town,
 Binh Duong Province, VietNam
 Tel: +84-274 222 1500 /
 274 222 1501
 Fax: +84-274 222 1502



ありがとう

つらいことがおこると 感謝するんです
 これでまた強くなれるとありがとう
 悲しいことがおこると 感謝するんです
 これで人の悲しみがよくわかるとありがとう
 ピンチになると 感謝するんです
 これでもっと逞しくなれるとありがとう
 つらいことも悲しいこともピンチものりこえて
 生きることが人生だと言いきかせるのです自分自身に
 そうするとふっと楽になって楽しくなって人生が
 とても光り輝いてくるんです
 ピンチはチャンスだ 人生はドラマだ
 人生がとてもすてきにすばらしく
 よりいっそう光り輝きだすんです
 ますます光り輝く人生をありがとうの心と共に
 いつまでもかわりなくご指導ご支援くださる
 みなさまに 感謝のこころとありがとうを

